

「こんにゃく」 だいじょうぶかな 岡山幼稚園（福島県福島市）

4～5歳児の2年にわたり「こんにゃく」に興味をもって見たり、生長に気づいたりして育てた事例。
4歳児の時の様子（17年度）

幼稚園で育てていた「不思議な球根」をみんなで掘り起こす。土の中から球根を取り出すと、**座って**みていた幼児が身を乗り出して「**うわー。すごいね**」と見たり「**角が生えているね**」「**ぼこぼこしているね**」と球根の形に興味をもって触れたりしていた。保護者の方にもこんにゃくの球根を見せようために、しばらくの間、玄関に飾っておいた。

数日後、「不思議な球根は不思議な力をもっているから、願い事が叶うんだよ」と言って、どんな願い事を叶えたいか、イメージを膨らませて絵を描いた。「**魔法使いになってお菓子の家を作るんだ!**」「**スーパーサイヤ人になるんだ!**」などと話をし、自分の思いを絵に表す姿が見られた。

5歳児の時の様子（18年度）

ひまわり大国からのプレゼントは「こんにゃくだ!」（5月）

ひまわり王国からの贈り物が届いた。「これは不思議な球根です。大切に育ててください」と手紙がついていた。袋の中から出てきた物は、今まで見たことのない不思議なもので、ハブの頭のような白い芽が伸びていた。幼児は「**うわー**」と**興味をもって見たり、驚いたり**していた。不思議なものの形を見ると、「**これなんだろう?見たことないね**」と疑問に思ったり、「**なんか球根みたい**」「**見たことある!年少の時に玄関のところにあったよ!**」「**こんにゃくだ!!**」と年少時を思い出したりする言葉が聞かれた。クラス全体に、昨年育てていたこんにゃくの球根であるということを知らせ、みんなで大切に育てようとして話した。「**これが大きくなるとどうなるの?**」と生長に期待する姿が見られた。

土に植えた球根の芽は、曲がっていたのだが、しばらくすると**茎が少しずつまっすぐになってきたことに気づく幼児が出てきた。**



こんにゃくの花

ハブの頭のような芽は、どんどん大きくなり、赤紫色に変化していき、斑点が濃くなってきた。その姿を見て、幼児は「**これなんだろうね?**」「**くさってきたのかな?**」と話をする姿が見られた。これはこんにゃくの花で、今まで誰も見たことのない物であった。カラーの花のようなこんにゃくの花は、しばらくすると枯れてきた。花が終わると、茎自体も次第に枯れてきた。

枯れてきたこんにゃくの茎を見て、「**これ、くさってきたね**」「**水が少なかったからかな?**」などと言って、こんにゃくにとても関心をもっている姿が見られた。



こんにゃく、枯れてしまう!

こんにゃくの花が完全に枯れてしまうと、「**もうだめだね**」「**水をたくさんあげなかったからだね。**」と話をする姿が見られた。こんにゃくの花が枯れてしまった話をクラス全体で取りあげ、「**また芽が出てくるようお願いをしよう!**」と、みんなで球根に向かってパワーを送った。

こんにゃく、芽が出てる!（6～7月）

こんにゃくを植えていた鉢から、**芽が出ていることに気づいた。**「**すごい!芽がでたよ!**」と**友達に教えに行く姿が見られた。**6月の終わり頃にはこんにゃくの芽が2つ出て、大きく育ち、葉を広げていた。それに気づいた女児は「**わあ!すごい!おっきくなってる!**」と驚いていた。

その後、終業式の1週間前には、枯れたところから**太い角のような芽が出ている**ことに気づいた幼児がいて、こんにゃくの生長に関心をさらに高めていききっかけとなった。

終業式には、最後にこんにゃくをみんなで眺めて、2学期にどれくらい大きくなっているかを楽しみしながら夏休みを迎えた。

こんにゃく畑になってる!（9月）

夏休みの間に、太い角のような芽はどんどん育ち大きくなっていった。久しぶりに、2学期登園してくると、こんにゃくの様子に気づいた幼児が、「**すごいよ!こんにゃく畑になってる!**」と驚いていた。また、大きく育ったこんにゃくに**水をあげる姿も多く見られるようになった。**



みどころ

大きくて、角が生えている、例えようのない形のもの「球根」に出会った4歳の時に「願い事が叶う」と思って絵を描いたことで印象に残っていたため、5歳で再び出会い驚きながらも、「育てよう」「どうなるのかな?」と期待をもって栽培する姿につながっています。「**白く伸びた芽がどうなるのか**」「**花が枯れてどうなるのか**」など予想が付かない場面では、「大丈夫かな?」と自分たちのかかわり方を考えたり振り返ったりしながら、生長を見守っています。心がゆさぶられ、意欲的にかかわる姿が随所に見られます。